

# さとう ゆみ

## 3月 議会報告

No.4 2012年4月

〒480-1155  
長久手市平池409-A103  
Tel&Fax 0561-76-7811

E-mail: info@satoyumi.net

ブログ「きらめく未来づくり日記」日々更新中  
http://ameblo.jp/satoyumi-nagakute/



花と緑が心をなごませてくれる季節となりました。市長が選挙公約として掲げていた住民プロジェクト「絆」は、4月から「たつせがある課」が中心となり本格的に始動するようです。中身があいまいで不明瞭な点が目立つため、今後の展開を注視していくとともに、私自身もまちづくりに協力をしていきたいと思ひます。みなさまからのご意見をお待ちしています。

### さとうゆみ議会報告会

5月12日(土)14時~16時  
6月2日(土)14時~16時  
長久手交流プラザ  
申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

## 平成24年度の市の予算 予算総額過去最大261億円

3月議会から

吉田一平市長の下で初めて編成された予算です。義務教育施設の建設や保育園用地の取得にまとめた額が必要となります。また、市制施行により、生活保護費や障がい者自立支援の扶助費を市が負担することとなりました。12億円で墓地用地も購入するそうです。そのため、予算総額は過去最大の261億円となり、前年と比較すると約10% (23億7,000万円)増加しています。

### 予算計上された主なもの

- 第三中学校建設事業…12億2,500万円 (建設事業費全体の約66%)
- 市が洞小学校校舎増築事業…2億8,400万円 (増築事業費全体の40%)
- 南部保育園新設事業費…2億7,900万円 ← 今年度は用地取得および園舎設計のみ
- 地域共生ステーション事業…2,400万円 ← まず長久手小学校区と西小学校区に1カ所ずつ整備
- 住民プロジェクト事業交付金…700万円 ← 5つの自治会連合会と2つの区会にそれぞれ100万円ずつ
- 家庭的保育事業…3,200万円 ← 0~2歳までの待機児童対策を目的に9月頃から開始予定
- リニモ出資金…2億1,500万円 ← これとは別に、市が銀行から借りて愛知高速交通(株)に貸し付けたお金(転貸債)が経営難により戻らず、肩代わりして約1億1,000万円を返済。
- 卯塚墓園事業…12億700万円 ← 12億円借金(市債)して南部区画整理地内に墓地用地を購入

## 市制施行後、真っ先に議員報酬を増額！！ さとうゆみは反対しました

今年の1月末と2月上旬に2回開催された「長久手市特別職報酬等審議会」(以下、審議会)は、市長、副市長、議員の報酬を引き上げるべきと答申を出しました。この審議会は、市長が第三者の意見を参考として聞くために設置するもので、公募市民2名や学識経験者、商工会や農協の代表など8名の委員で構成されていました。答申には「長引く不況やこの後の市の財政運営も厳しさを増していくと思われることから、答申内容について適切に判断されること」と付記されています。

さとうゆみの考え

審議会の答申が出た直後、市長は「市長給料は引き上げた額から20%減額する」との意向でした。また、議員報酬については、市長の判断を示さず「議員たちで決めてほしい」と言いました。そうしたところ、引き上げの答申内容に賛同する議員らから「答申どおりに市長が議案を出すべきだ」「市長らだけ減額するのは自分たちだけ良い顔をするようになる」などと強い反発があり、市長は意向どおり進めていくのを躊躇した様子でした。このような紆余曲折があり、市長が最終的に議会へ出した議案は、当初の意向とはかけ離れたものでした。市長は、「長引く不況」「この後の市の財政運営」を十分検討した上で判断したのか疑問です。

本会議での採決の結果、報酬引き上げの議案は、賛成多数で可決されました。ただ、今年度に限り市長、副市長給料は据え置きとし、議員報酬は引き上げた額から10%減額としました。その結果、議員報酬はこれまでの297,000円から今年度は325,800円となり、来年度から362,000円となります。

平成22年に市制施行したみよし市では、市になっても議員報酬は変わらず、2年以上経過したこの3月議会に引き上げの議案が議会に出されました。みよし市議会では、今年度については据え置きとすることとしました。一方、長久手では市制施行後たった2カ月しか経過してないにもかかわらず、議員の多くが報酬引き上げに賛成するなど、議会としての見識を問われるのではないのでしょうか。議員の仕事ぶりが引き上げ後の報酬に見合うかどうか、市民のみなさんの厳しい目でチェックしてください。

このように改正されました。(審議会の答申もこれと同額)

|        | これまで     | 今年度     | 来年度    |
|--------|----------|---------|--------|
| 市長の給料  | 月額88万円   | 88万円    | 92万円   |
| 副市長の給料 | 月額71.7万円 | 71.7万円  | 75万円   |
| 議長報酬   | 月額39.9万円 | 43.92万円 | 48.8万円 |
| 副議長報酬  | 月額32.2万円 | 38.07万円 | 42.3万円 |
| 委員長報酬  | 月額30.7万円 | 32.58万円 | 36.2万円 |
| 議員報酬   | 月額29.7万円 | 32.58万円 | 36.2万円 |

### 議員報酬の引き上げに関して請願が出されました。

市民のみなさんから「長久手市議会議員の報酬を、市制施行後直ちに増額しないことを求める請願書」が提出されました。請願の趣旨は、市になったばかりで市としての新たな施策も具体化していないなか、議員報酬を直ちに引き上げるべきではないとするものです。私は、市制施行後真っ先に取り組むべきことは報酬の引き上げではないと考え、請願の

紹介議員となり議会であつたえました。

しかし、総務まちづくり委員会で審査された結果、請願を採択することに賛成の議員が少数であり、不採択となってしまいました。市民の声に耳を傾け、市民の声を受け入れる議会にしていかなければならないと考えます。

## 障がい児保育の配置基準の見直しを

Q 過去は、「児童4人対保育士1人」の配置基準が国の基準でもあったが、多くの自治体ではすでに「3対1」「2対1」の基準を取り入れている。見直すべきではないか。

A 保健福祉部長 「日本一の福祉のまち」という位置付けにもなるので、考えていきたい。

Q 「児童福祉法」では、入園を断る場合、市町村は代替的措置をとらなければならないとしているが、どう対応するのか。

A 保健福祉部長 平成24年度は、すぎのこ教室の充実を図る。将来は、発達支援センターのようなものを実現させていきたい。

Q 市が始める家庭的保育事業は、障がいのある児童を対象とするのか。

A 保健福祉部長 今のところ、想定していない。

## (株)長久手温泉の経営とその情報公開のあり方について

Q (株)長久手温泉の月次報告書、取締役会の資料の大部分を非公開としたのはなぜか。

A 保健福祉部長 第三者に関する情報が記録されているためである。

Q 非公開としていては、市民に対して説明責任が果たせないのではないか。

A 副市長 会社の経営がどうなっているのか市民に分からない状態ではいけないので、今後は基本的に公開していく方針である。

Q ここ数年間入泉者数は右肩下がりが、「ござらっせ」をオープンするにあたり当初見込んでいた年間入泉者数は、今現在の約4.2万人である。見込んでいた人数で採算が合わなくなっているのは、なぜか。

A 副市長 客の入りがあっても経費のかかるレストランがずっと赤字であることや、市民の利用が十分図れていないことなどによる。

## 家庭的保育事業の中身を明確に

Q 家庭的保育事業とは、どのようなものか。

A 保健福祉部長 保育園の入園を待機している子どもを、市が認定する保育者が、保護者に代わって家庭的な雰囲気の中で保育を行う事業である。

Q 豊田市では、開始するにあたり準備に2年間かけている。今年の9月から開始できるのか。

A 保健福祉部長 昨年からは県外に視察に行くなどして、準備を始めている。

Q 3人型の場合、保育者1人で0～2歳児3人を見ることとなる。あまりにも大変ではないか。

A 保健福祉部長 補助者や援護者を確保してもらうなど、それぞれのケースに合わせて対応したい。

さとうゆみの考え

現在、長湫北保育園と上郷保育園の2園で障がい児保育が実施されています。長久手市では、障がい児保育の保育士配置基準は「児童4人対保育士1人」です。平成22年度に、国が指定都市、中核市の障がい児保育事業実施状況を調査したところ、保育士配置基準を一律「児童4人対保育士1人」としているのはわずか7.8パーセントであり、多くの自治体では「3対1」「2対1」の基準を設けていました。

入園をするにあたっては、保育士1人が児童を最大4人見ることが前提として受け入れられるかどうか判断することにもなるため、配置基準は見直すべきだと考えます。

「児童福祉法」では、市町村が保育園への入園を断る場合、代替的措置をとらなければならないとしています。しかし、今の長久手は、代替的措置となるものが整っていません。障がいのある児童にとって暮らしやすいまちとなるよう、これからも働きかけを行っていきます。

さとうゆみの考え

長久手市に(株)長久手温泉の月次報告書や取締役会の資料などを情報公開請求したところ、驚くべきことに情報が真っ黒く塗られ大部分が非公開となりました。

(株)長久手温泉は、市が60%(6,000万円)を出資して設立した会社であり、最終的な赤字になった場合に税金を投入することとなるため、非公開としていては市民に対して説明責任が果たせません。(株)長久手温泉の社長は、長久手市の副市長です。副市長から「今後は基本的に公開していく方針」との答弁がありましたので、市民のみなさんに説明ができる形で情報公開がなされることと認識しています。

平成23年度上半期で、(株)長久手温泉は「ござらっせ」のマイナスを「あぐりん村」の利益で補うことができず、会社として利益が出ていません。「ござらっせ」は税金を投入して造った市民の財産であり、安定した経営を続けていくことができるよう、まさに今、抜本的な見直しをしなければならないと考えます。

さとうゆみの考え

待機児童対策を目的に新たに始める家庭的保育事業は、保育者の自宅や賃貸物件などを使い「保育者2人で子どもを最大5人見る5人型」と「保育者1人で子どもを最大3人見る3人型」の2種類が予定されています。市立保育園の入園基準を満たしている0～2歳までの子どもを対象とし、30数名の利用を見込んでいるとのこと。

国のガイドラインに沿って行うことは決まっていますが、その先がよく分かりません。現在、実施するための要綱をつくらせている段階であり、場所も保育者となる人もこれから決めるというところ。平成23年度から家庭的保育事業を開始した豊田市では、平成21年度から準備をしています。子どもたちの命を預かる事業ですから、土壇場で慌てて準備し、不十分な態勢のまま始めるということは、あってはならないと考えます。安心して子どもを預けることができる場となるよう、引き続き確認をしていきます。

➡ 議会の傍聴にお越しください。

◆ 臨時議会 ◆ 5/8(火)

◆ 6月議会一般質問

◆ 6/12(火) ◆ 13(水) ◆ 14(木)

➡ この議会報告は一部政務調査費を使用し発行しています。  
(政務調査費は月1万円です。)

## 平成25年4月に新たな中学校が開校予定



長久手市東原地内(旧給食センター跡地)に、市内3校目となる中学校が建設されています。通うのは、北小学校区と西小学校区の生徒です。今後も人口が増える見込まれる地域であるため、生徒数の増加に対応できる学校であることが求められます。